

## 【巻頭言】

## これからの情報研究所

情報研究所 所長 石田 義明

平成 22 年度 4 月から江戸川大学情報研究所所長に就任したので、就任の挨拶代わりに、今後の江戸川大学情報研究所の活動について述べたいと思う。

江戸川大学では e-campus と呼ばれるように、学生全員にノートパソコンを貸与し、学生がそれらを充分使いこなせるよう情報教育に力をいれてきた。情報リテラシーでパソコンの基礎的な操作を学習し、Web デザイン、コンピュータグラフィックス、マルチメディア演習、プログラミング、データベース、データ分析、e ビジネス等の情報関連の講義や演習で、パソコンを使った実践的な学習が受講可能で、e-learning により、ネット上でのいろいろな情報資格の勉強が、いつでもどこからでもでき、学務上の手続きもネット上で行い、パソコン無しにはキャンパス生活ができない状態になっている。パソコン関連で、学生や教員が困った状況になった場合は、ヘルプデスクという組織で学生が中心になってバックアップしてきた。また学習支援システム LMS によって、授業単位でサーバー上で教材を管理し、学生は好きな時にダウンロードし、また課題もサーバー上に提出でき、結果を学生に簡単にフィードバックすることができる。このような管理を学術情報部と情報研究所で行ってきた。このような業務は徐々に学術情報部に移管し、今年度からは情報研究所は研究所紀要 *Informatio* と研究開発を主な仕事にすることになった。

今後の情報研究所は大学のカリキュラムから離れ、研究開発に専念することになり、その一環として情報研究所の運営委員会を立ち上げることにした。今まで情報文化学科の教員だけで構成されていたが、他学科の教員からも委員として情報研究所に参加してもらい、いろいろな研究分野からさまざまな意見をもらい、研究所の活動を多面的にサポートしていただくことになる。その結果、より開放的で多様な活動ができるような環境を構築できるのではないかと期待している。今年を情報研究所元年として全学の要望を取り上げ、その存在意義を積極的に主張できる研究所にしたいと思う。ご支援ご協力をお願いしたい。研究所紀要 *Informatio* ももっと広範囲な方々の幅広い意見を取り入れて、多数の人に関心を持ってもらう雑誌にしたい。皆様のご協力、ご支援をお願いするところである。